

誓いの言葉を述べる櫻井匠さん(右)と能澤美風さん

成人式 希望胸に新たな一歩



新成人の門出を祝う「成人式」が1月8日、文化センター大ホールで行われました。色鮮やかな振り袖や袴、スーツ姿の新成人465人(対象者663人)が出席し、成人としての第一歩を踏み出しました。

同式典は、和太鼓サークルの演奏で盛大に幕を開け、続いて堀口市長と森川議長が新成人にお祝いの言葉を贈りました。

新成人を代表して櫻井匠さんと能澤美風さんが、国宝石清水八幡宮がある市で、大切な仲間と成人式を迎えられたことを喜ぶとともに、「成人としての自覚を忘れることなく、責任ある行動と人を思いやる優しい心を持って社会に貢献することをここに誓います」と、誓いの言葉を述べました。

式典終了後には同センター小ホールで、母校の先生たちを招いた「新成人のつどい」が行われました。新成人たちは久しぶりの再会に、近況や思い出話に花を咲かせたり、記念撮影をしたりと、楽しいひとときを過ごしていました。



恩師とともに笑顔を見せる新成人

1月13日、「美濃山遺跡発掘調査見学会」が美濃山出島で行われ、男山東中学校と美濃山小学校、有都小学校の児童、生徒とその家族など約130人が参加しました。

新名神高速道路の建設工事に伴い発掘調査が実施されており、今回、弥生時代後期から奈良時代までの竪穴式住居や掘立柱建物の跡などが確認されました。

同会は、一般公開に先立ち、校区の児童、生徒に見

弥生後期から奈良時代 竪穴式住居や掘立柱建物跡



説明を聞きながら、竪穴式住居跡を見学する参加者たち

学してもらおうと、男山東中学校区学校支援地域本部と京都府埋蔵文化財調査研究センターが主催。

参加者たちは、同センター職員から、竪穴式住居や掘立柱建物についての説明を聞いた後、発掘現場へ移動。建て替えの跡や水が外に流れ出るように作られた溝、実際に柱が立っていた跡などを見学し、遺跡から垣間見える当時の人々の生活に思いをはせていました。

家族で参加した川村優那さん(11)は、「学校では学べなかった詳しい話や、遺跡の実際の大きさが分かり、貴重な体験ができました」と話しました。

美濃山遺跡発掘調査を見学

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



発着点の松花堂庭園・美術館からスタートする参加者

初春のつどいウォークラリー&お茶を一服 名所や旧跡 歩き初め

1月7日、「初春のつどいウォークラリー&お茶を一服」が行われ、参加者約200人が、松花堂庭園・美術館を発着点に、新春の歩き初めを楽しみました。

同イベントは、体力づくりと市民の交流を目的に、体育協会、文化協会が毎年主催。コースは石清水八幡宮やさくら近隣公園など市内の名所や旧跡を巡ります。

参加者は、約6kmのコースをそれぞれのペースで歩き、途中に設けられた2カ所のチェックポイントでスピードくじやクイズに挑戦。

ゴール会場では、参加者全員にお茶とお菓子が振る舞われ、主催者が設定した時間でゴールした参加者には「タイム賞」として、賞品が贈られました。

参加した伊東康幸さん(44)は、「ほどよい距離感で、さくっと歩いて良かったです。タイム賞とスピードくじが当たり、まさかもらえると思っていなかったのうれしいです」と話しました。

人形劇 演じて学ぶ

くすのき小5年生80人

1月22日、くすのき小学校の5年生80人が、人形劇団芸芸による「人形劇ワークショップ」の授業を受けました。

この授業は府が主催する「文化を未来に伝える次世代育み事業」の一環で、同小学校では平成27年度から行われ、今年で3回目。

劇団員から人形の種類や構造の説明を受けた後、児童たちは3人1組で、3人



「大きなカブ」の人形劇を披露する児童たち

遣い人形の基本的な動作を学びました。児童は、胴体と右手・左手・両足を動かす3つに役割を分担。3人の呼吸を合わせながら、人形を歩かせたり、踊ったりさせました。

後半は、児童が2グループに分かれ、「大きなカブ」の劇を練習。劇団員から「カブを引っ張るときには、足を踏ん張るように」などのアドバイスをもらい、人形を生き生きと見せる工夫を取り入れていました。

最後に、各グループが劇を披露。演じる側も観る側も、個性豊かな人形の動きに笑顔を見せながら楽しんでいました。